

インディアカ競技規則改正(2017年9/1)解説

横須賀インディアカ協会

No.	条 項			頁	内 容	解 説	
1	第1章	第1条	競技区域	第2項7	6・10	コーチングエリアは、それぞれのコートアタックラインの想像延長線からエンドライン想像延長線までとする	試合中監督は決められたエリアから選手に指示が出せる(試合の妨げにならないこと)
2	第2章	第4条	チーム	第1項4	8	シニア男子を規定	シニア男子設定(ネット2m)
3	第2章	第4条	服装装備	第4項1	9	競技者は、競技服の胸部及び背部に番号を表示しなければならない	背番号の位置が明記された
4	第2章	第4条	服装装備	第4項3	9	競技者は、手の指のテーピング、肘当て、ひざ当てを装着することができる	指の怪我防止目的でテーピングがOKとなった
5	第2章	第5条	主将・監督	第1項4	9	主将はサーバー順を確認することができる	主将と監督はサーブ順を副審に確認できる
6	第3章	第7条	競技構成	第1項1	12	試合開始前ジャンケンに勝ったチームは次の一つを選ぶ①サーブかレシーブ②コート選択	ジャンケンに負けても選択枝がある(サーブ・レシーブ・コート)
7	第4章	第8条	打球許容	第2項2	14	(サーブ、アタック、ブロック)及びブロッカーに接触したインディアカボールに限り両手打ちが許される	従来はブロックに当たったボールは両手打ち不可であったがOKとなった
8	第4章	第9条	ネット付近	第2項	16	ネットに引っ掛り静止したボールはノーカウント、4回目の打球は失敗とする	従来はネットに引っ掛ると最後に触れた人の失敗であった
9	第4章	第9条	ネット付近	第6項4	18	相手チームの注意を引く為大声を出したり相手競技者に触れた場合はインターフェアの反則となる	ネット付近で相手に向かって過度なガッツポーズ・大声はNG
10	第4章	第12条	ブロック	第1項	21	ブロックとはネット近くで相手から打ち込まれてくるボールに対してネット上縁より高い位置で阻止するプレーを言う	ネット付近(30cm)でのブロック行為の規定はなくなり、ネットより低い場合はブロックとみなされなくなる
11	第5章	第17条	競技遅延	第1項	25	競技の再開を遅らせるチームの不適切な行為は遅延とされる	競技者交代を遅らせる、不適切な要求を繰り返すなど5項目が明記された
12	第5章	第17条	競技遅延	第2項	25	1回目の遅延は警告2回目以降は反則となる	遅延罰則は同セット中に有効とされるがセット間の遅延は次のセットに適用される
13	第6章	第18条	振舞い		25・26	競技参加者に求められるふるまいを規定	ルールを熟知し、審判の判定に従いフェアプレーの精神でプレーするなど明記された
14	第6章	第19条	不法行為	第1項	26	競技参加者に不法な行為、著しく競技精神に違反する言動があった場合には罰則を受ける	競技参加者とは選手・監督・コーチ・マネージャーが対象
「メモ」							